

★ あおき通信

VOL.9

JANUARY

2010年 1月



A HAPPY NEW YEAR



今年もよろしくお願ひ致します。あおき矯正歯科スタッフ一同、ますます精進致します。では、今年の私達の意気込みです。

DH 町田



医療の進歩は目覚ましく、昨年はマイクロスコーブを導入し、私自身もマイクロサージャリーを使用しながらメンテナンスをさせて頂きました。今年は更に患者様満足度アップの為にアンチエイジングの勉強をして参りたいと思います。

虫歯が出来ていたのに出来なくなった子たちや、歯周病で悩んでいた方々が笑顔で来院して下さることが私たちの頑張りの源となっております。今年も”あおきチーム”が皆さんの笑顔をお守りできたらと思います！

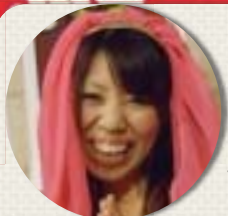


DH 船橋



DH 倉持

早いもので、入局して2回目のお正月を迎えました。今年は充実した設備で、より分かりやすくお口の状態を伝えられると思います。更に、皆様のお口の健康のサポートが出来る様に精進致します！



受付 篠崎文香

あおき矯正歯科に勤め始め半年たちました。みなさん私のこと覚えてくれましたか？これからもっとみなさんとお話しして仲良くして頂けると嬉しいです。今年も笑顔で頑張ります！！

昨年から始まったあおき通信、いかがでしょうか？読んで下さってるあなたを見ると作る意欲がわきあがります。今年も、ためになり・愉快で愛されるあおき通信と私たちを目指します。

受付 高橋



CT(コンピューター断層撮影装置)導入しました。

2次元診療から 3次元診療の時代へ！！治療するにあたり、最も重要なのが診断になります。診断は問題のおこっている状態など、正確な情報が多ければ多いほど精度が上がってきます。探偵のような情報収集と精密な病気のデータが必要なのです。特に歯科は、今までレントゲン写真がその主役になっていました。レントゲンは歯・骨と言った直接見えない固い組織の中で起ったことを推測するには大変役立っていますが、欠点は立体のものを平面に押しつぶして透かして見る様になってしまい奥行き等が判りませんでした。

しかし、CT装置を導入したので、立体のものを立体として、またあらゆる角度での断面をリアルタイムで見られるという、画期的な診断が当院で出来る様になりました。



CTのメリットは次の4つです。

- ・被爆線量が医科のCTの1/10以下
- ・1回の撮影で最大の範囲のデータを取得
- ・世界トップのスキャン時間。8.9秒
- ・最小断層厚世界トップ 0.125ミリ。

身体に対する負担が最小にして最大の情報が得られ、立体を立体として見るので直感的に理解しやすい、いわば解りやすい医療を展開できるものと考えております。

